

## 「省エネ」に関する意識調査

リンナイ株式会社

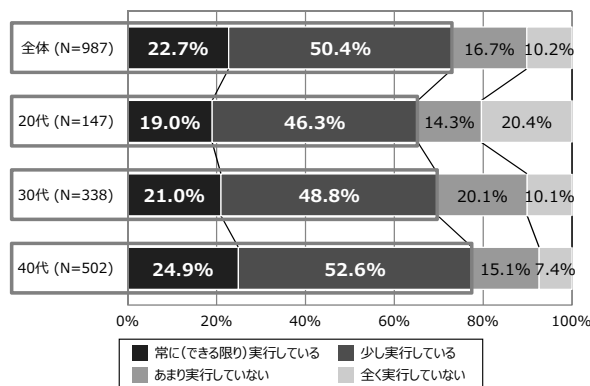
熱で暮らしを豊かにするリンナイ株式会社（本社：愛知県名古屋市、社長：内藤弘康）では、省エネの目的や行動、理解度などを探るべく、全国20～40代の男女計987名を対象に「省エネ」に関する意識調査を実施しました。

69.8%、40代が77.5%という結果となり、年代が上がるとつれて、省エネを行っている人も増えていることがわかりました。また、エリア別では大きな差はみられませんでしたが、「四国地方」が79.8%と最も高い結果となりました。

### ■調査概要

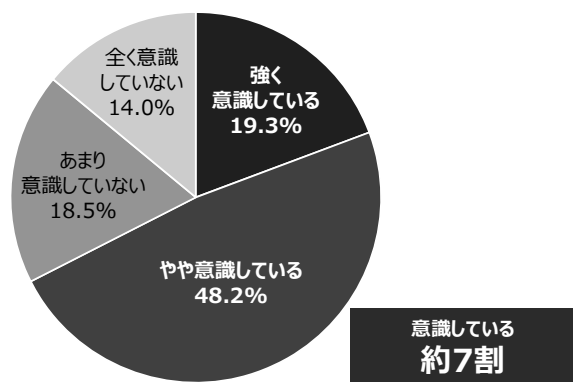
調査時期：2017年4月26日（水）・27日（木）  
 実施方法：インターネット調査  
 調査対象：20～40代 計987名  
 調査エリア：47都道府県（各21名）

【年代別データ】



### ■調査結果概要

普段の暮らし（家の中）で省エネをどの程度意識しているのかを調査したところ、「強く意識している」19.3%、「やや意識している」48.2%と約7割近くの方が意識していることがわかりました。



Q1 あなたは、普段の暮らし（家の中）で省エネをどの程度意識していますか？（単一回答 N=987）

日頃の生活の中で、省エネを意識するだけでなく、実際に行動しているかどうか調査したところ、「常に（できる限り）実行している」、「実行している」と回答した人が73.1%という結果となり、約7割の人が省エネを行っていることがわかりました。

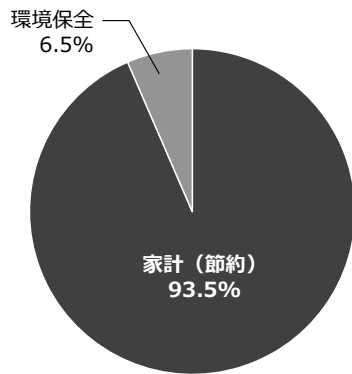
さらに年代別にみると、20代が65.3%、30代が

【エリア別ランキングデータ】

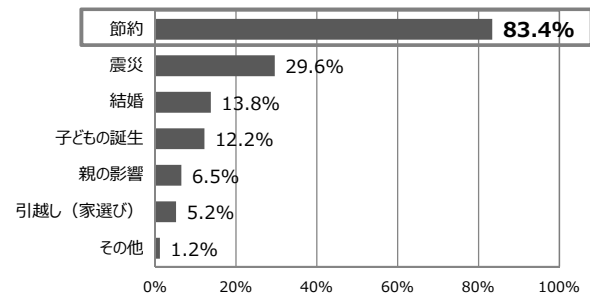
1位	四国地方	79.8%
2位	関東地方	76.9%
3位	北海道・東北地方	74.1%
4位	中部地方	71.4%
5位	九州地方	71.4%
6位	近畿地方	70.7%
7位	中国地方	69.5%

Q2 あなたは普段、省エネを意識するだけでなく実際に行動していますか？（単一回答 N=987）

次にご自身にとっての「省エネ」に関して調査したところ、家計（節約）を意識している人が全体の約9割と多数いることがわかりました。一方で環境保全を意識している人は1割以下という結果となりました。省エネを意識するようになったきっかけとしては、「節約」と回答した人が8割以上と最も多く、続いて「震災」が約3割という結果となり、2011年の東日本大震災が省エネ意識にも影響を与えていました。続いて、13.8%が「結婚」、12.2%が「子どもの誕生」と回答しており、生活環境の変化とも関係していることがわかりました。



Q3 あなたにとっての省エネは、家計（節約）を意識したものか、環境保全を意識したものか、どちらの方がより強い意識としてありますか？（単一回答 N=849\*）



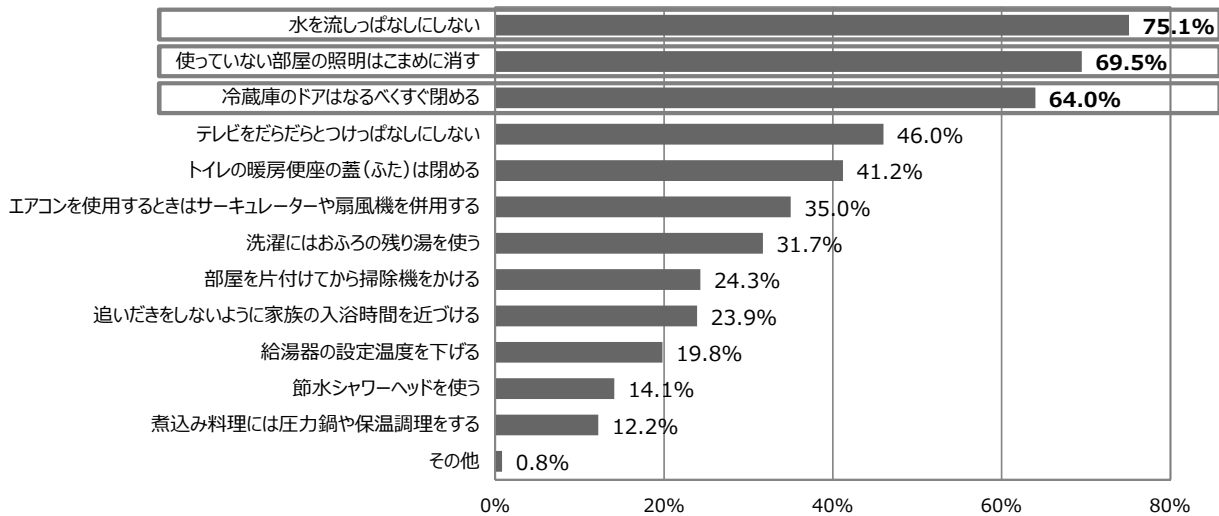
Q4 あなたが省エネを意識するようになったきっかけは何ですか？（複数回答 N=849\*）

\* Q1 「全く意識していない」人を除く

省エネのために具体的に日頃どのような対策を行っているのかを調査したところ、「水を流しっぱなしにしない」を選んだ人が75.1%と最も多い結果となりました。続いて、「使っていない部屋の照明はこまめに消す」が69.5%、「冷蔵庫のドアはなるべくすぐ閉める」が64%という結果となり、手軽に行うことのできる

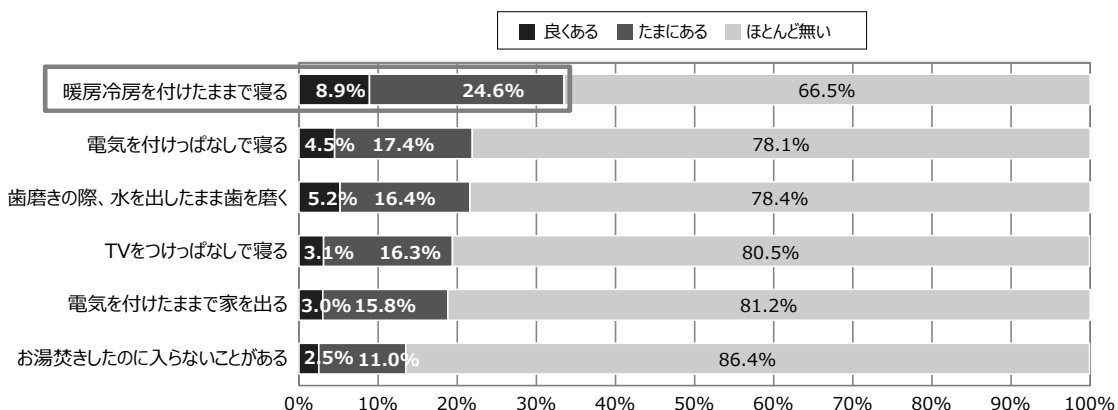
対策が上位に挙がっています。（Q 5）

また、普段の生活の中でやってしまう非省エネな行動について調査したところ、「暖房冷房を付けたまま寝る」と回答した人が33.5%と最も多い結果となりました。（Q 6）



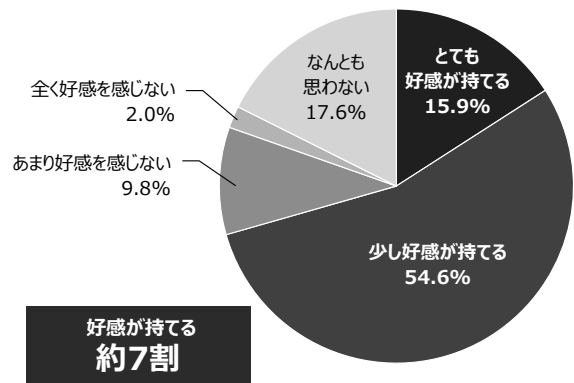
Q5 あなたが省エネのために具体的にしている対策はなんですか？ 実際に行っている項目を選択してください。（複数回答 N=886\*）

\* Q2 「全く実行していない」人を除く



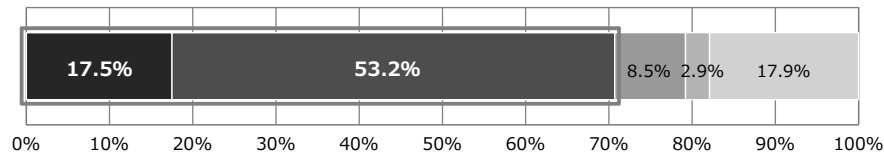
Q6 あなたは生活の中で、以下のようなことはありますか？（各単一回答 N=987）

省エネについて関心を持ち、行動している異性に対して好感を持つかどうかを調査しました。すると、約7割もの人が「好感が持てる」と回答しました。男女別にみても大きな差はなく、省エネ行動をしている人は異性からの好感度が高いということがわかりました。

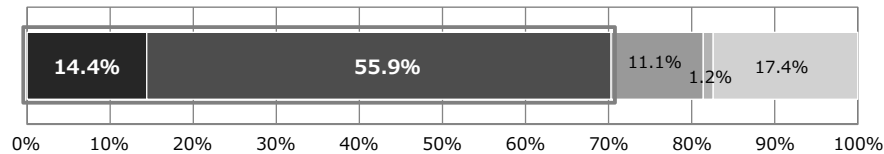


■ とても好感が持てる ■ 少し好感が持てる ■ あまり好感を感じない ■ 全く好感を感じない ■ なんとなく思わない

【男性 N=481】



【女性 N=506】

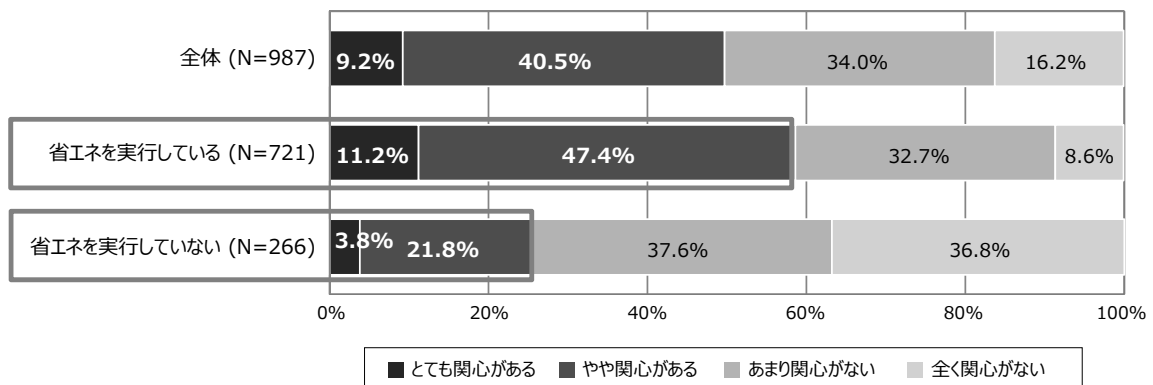


Q7 省エネについて関心を持ち、行動している異性についてどのように感じますか？（単一回答 N=987）

また、2016年に電力、2017年に都市ガス小売り自由化が開始されたことを受け、どの程度関心があるかを訊いたところ、約半数の人が関心があると回答しました。省エネ対策の実行有無別にみると、実行してい

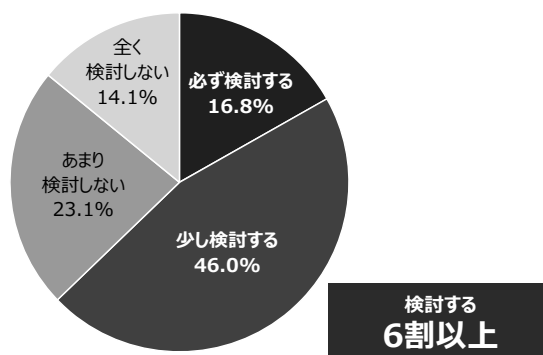
る人では58.6%、実行していない人では25.6%という結果となり、省エネに関心を持ち、対策を行っている人ほど、エネルギー自由化に対する関心も高いことがわかりました。

【省エネ実行有無別データ】

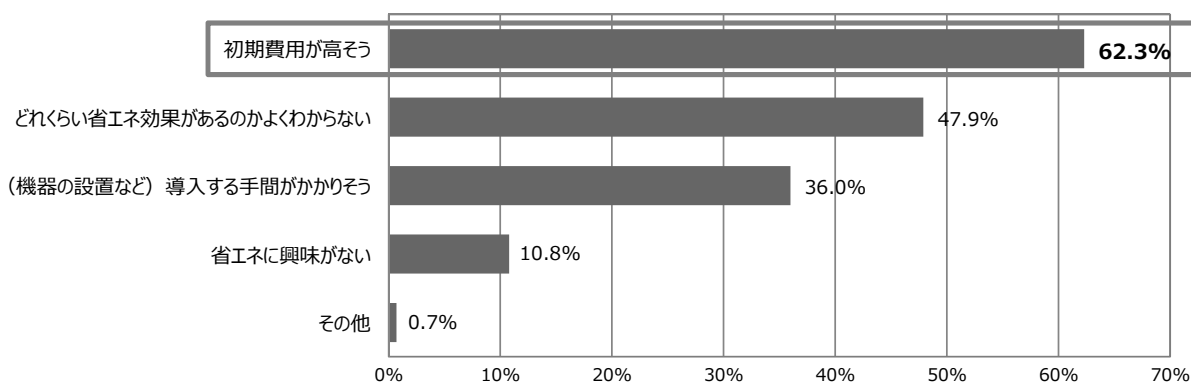


Q8 2016年4月に電力の小売りが自由化、2017年4月には都市ガスの小売りが自由化となりました。あなたはこのことについて、どの程度関心がありますか？（単一回答 N=987）

家を建てる時やリフォームの際に省エネ設備の導入を検討するかどうかを調査したところ、「検討する」と回答した人が6割以上という結果となりました。一方で、省エネ設備の導入にあたり障壁に思う点や気になる点、購入をためらう理由を聞いたところ、6割以上の人が「初期費用」を気にしていることがわかりました。



Q9 今後、あなたが家を建てる時やリフォームの際に、省エネ設備（発電機や給湯器など）の導入をどの程度検討しますか？ ※現在のお住まいから引越しをすると仮定して、お答えください。（単一回答 N=987）



Q10 省エネ設備（発電機や給湯器など）の導入にあたって障壁（ハードル）になる点や気になる点、購入をためらう理由は何ですか？（複数回答 N=987）

## ■まとめ

- ✓ 普段の暮らしの中で省エネを意識している人は約7割で、省エネ行動は年代とともに高まっていることが判明。
- ✓ 省エネは「家計(節約)」を意識している人が約9割。省エネ対策1位は「水を流しっぱなしにしない」。
- ✓ 東日本大震災発生から6年経った現在でも省エネ対策を継続している人が7割以上いることが判明。
- ✓ 非省エネな行動は「暖房冷房を付けたままで寝る」が上位に。
- ✓ 省エネについて関心を持ち、行動している異性に好感を持つ人は男女ともに約7割。
- ✓ 省エネ設備導入には「初期費用が高そう」と懸念している人が多いことが判明。